

編：日本皮膚科学会

実践！皮膚病理道場 2

バーチャルスライドでみる炎症性/非新生物性皮膚疾患 [Web 付録付]

書評者：山本 明美 (旭川医科大学教授・皮膚科学)

この本は「皮膚科専門医認定試験をこれから受験するために皮膚病理組織学の基本を短時間で身につけたい」と考えている皮膚病理ビギナーにうってつけの一冊です。編集が日本皮膚科学会ということは、個人的な意見ですが、この本の画像が専門医認定試験問題に使われる可能性があると考えます。もちろん用いられている画像はどれも病理所見がわかりやすい典型的なものばかりですから試験用としても最適なものです。

この本の最大の特徴は難易度順に疾患を分類し、容易なものから順に A, B, C の 3 つのレベルで疾患がまとめられている点です。そしてそのレベルごとに中身は組織のパターン別、あるいは病因別に疾患が並んでいます。このことが初心者の学習を大いに助けると思います。なぜかという、皮膚病理を勉強する上で障害となるのは次のような事実があるからです。すなわち多くの教本に掲載されているのは目がくらむように膨大な数の皮膚病で、しかもおの

のが疾患の形成時期、すなわち早期、最盛期、治癒期なのかによって所見が異なるときには勉強する意欲が損なわれます。その点、この本ではまずレベル A にある厳選された少数の疾患をマスターすることでいったん達成感が得られます。そして心に余裕ができたところで、次のレベルに進むことができるのです。いきなりヒマラヤの頂上をめざすのではなく、近くの小山でハイキングから始めるような感じでしょうか。

この本のもう一つの特徴はほとんどの画像をバーチャルスライドで拡大や位置を自在に調整しながら観察することができる点でしょう。バーチャルスライドに込められている無限に近い情報量込みで定価 1 万 2000 円は大変お買い得な価格と言えます。本に掲載されている図の中に矢印や点線などで所見の部位が明示されているので、読者は迷うことなく病理所見を理解できます。しかしこれは受動的な学習なので知識の定着には不十分です。そこでその後パー

チャルスライドにより自分自身でその所見を能動的に探し出すことでしっかりと知識を定着させることができます。

またこの本には比較的広い余白があり、メモを書き込みたい読者への配慮が感じられます。自筆のメモを書く、という作業も知識を定着させるよい手段となります。さらに個々の疾患についての解説が短く端的なことも特徴的です。そのため、自分で余白に情報を追加し、マイブックとして活用することができます。もちろん日々の診療で出合う疾患の中には本書に掲載されていないものも多くあります。したがってまずこの本で基本をマスターしたら、より分厚い成書をそばに置いて学習レベルを深化させていくことをお勧めしたいと思います。

● A4 頁 248 2018 年 5 月
定価：本体 12,000 円＋税
[ISBN978-4-260-03533-0]
医学書院刊